

ぱど

子どもの習い事・スクール事情 「未就学児<<3~6歳>>編」



- アンケート対象：中学生以下のお子さまを持つぱど読者769名のうち、未就学(3~6歳)のお子さまがいる読者311名
- アンケート方法：インターネットアンケート
- 調査期間：2019.05.15~26

未就学児スクール選び POINT

1. 現在、習い事をしている未就学児の子どもは、回答者の約60%。そのうちの52%が「1つ」の習い事に通い、約70%が月に「3~4回」(ほぼ週に1回)。63%が「平日の15時~18時の間」に通う。予算は月あたり「5,000円~7,000円未満」が37%。
2. 最も多い習い事は、「スポーツ系」63%、次いで「語学系」30%、「音楽系」22%。習い事を通して願う子どもの成長部分は各系統で分かれるが、共通項は、「礼儀・忍耐力」を身に付けてもらい、「友達をたくさん作ってほしい」。
3. 現在通っているスクール・教室を決めたポイントは「お試し・体験レッスン・授業があった」と「家から近かった」。体験レッスンで、「先生の雰囲気・教え方」「授業内容」「子どもが気に入るかどうか」を確認している。
4. 子どものスクールを選ぶ際は、かなり詳細まで事前にチェック。①「通常レッスンの進め方」②「先生(スタッフ)の雰囲気」③「お試し・体験の有無」④「振替制度」⑤「通常料金」⇒ ある程度の条件に納得してから、体験を受けに行く。
5. 新たに習い事をさせたいと思う保護者は、今習っている子では62%、習っていない子では76%と未就学児を持つ保護者の習い事への関心は高い。習い事をさせるのによいと思う時期は、春休み、4月、夏休みの3回。

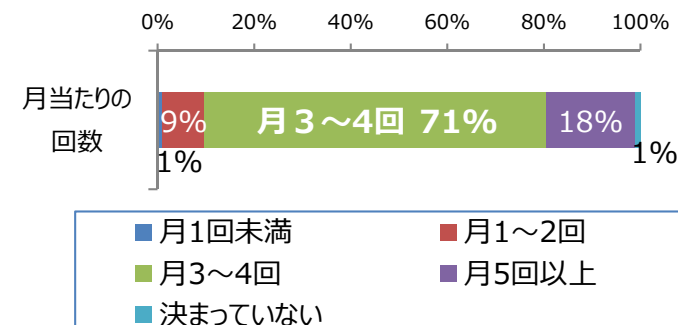
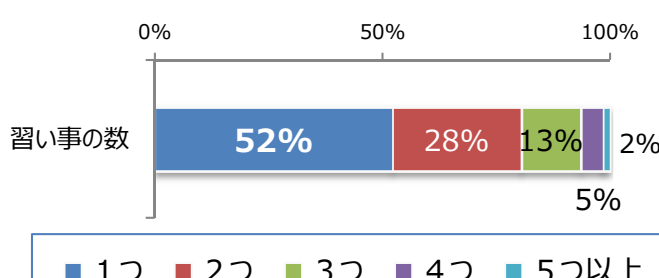
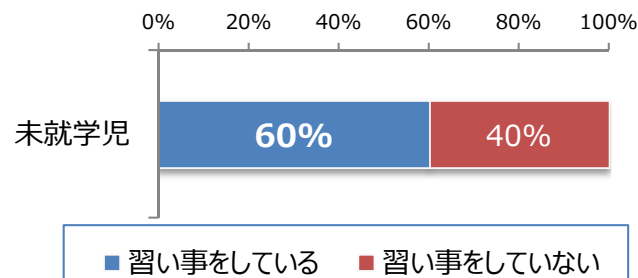
Point 1

現在、習い事をしている未就学児の子どもは回答者の60%。その内の52%が「1つ」の習い事に通い、71%が月に「3～4回」（ほぼ週に1回）、63%が「平日の15時～18時の間」に通う。予算は月あたり「5,000円～7,000円未満」が37%。

【グラフ1：現在、お子様は習い事をしていますか？】

【グラフ2：お子様は習い事をいくつしていますか？】

【グラフ3：月に何回通っていますか？】



(N：子どもの数：習い事をしている192、していない127)

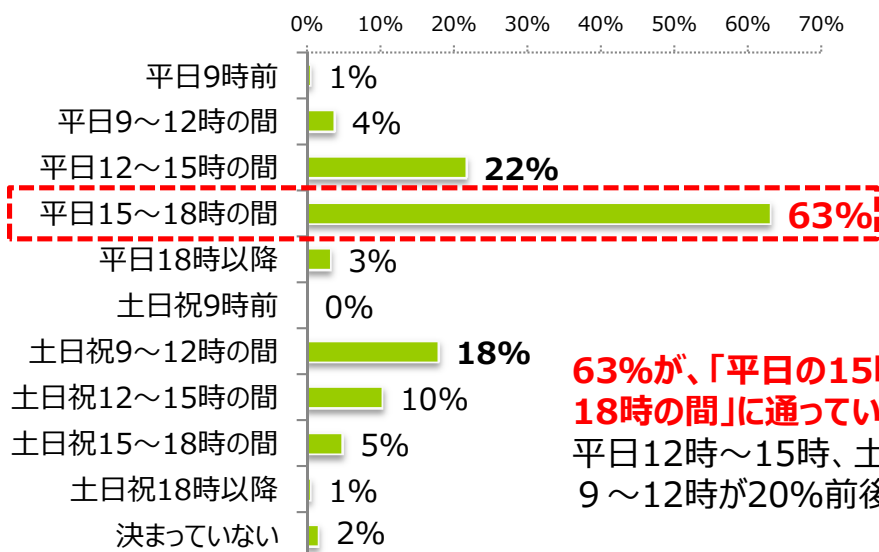
現在**60%**の未就学児が習い事をやっています。

習い事の数、**「1つ」が52%**で多数派。

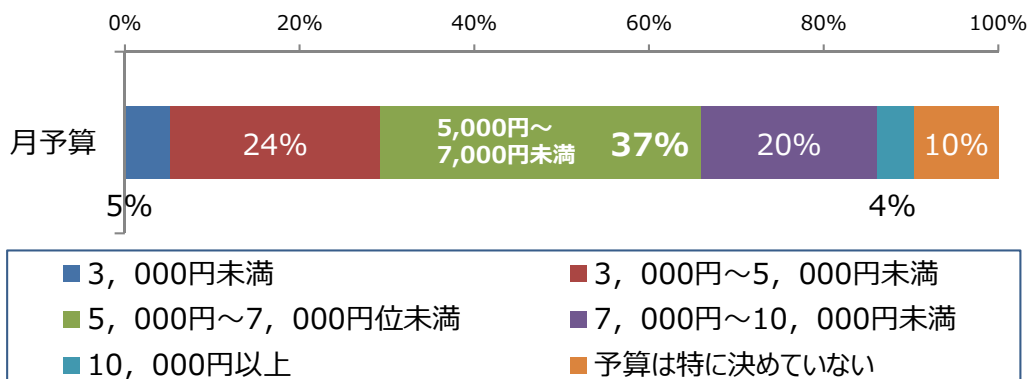
「月3～4回」通うお子さまが71%。大体週1回くらいといえます。

【グラフ4：習い事に行くのはいつが多いですか？】

【グラフ5：習い事の月予算(1つあたり)はどれくらいですか？】



63%が、「平日の15時～18時の間」に通っている。
平日12時～15時、土日祝9～12時が20%前後。

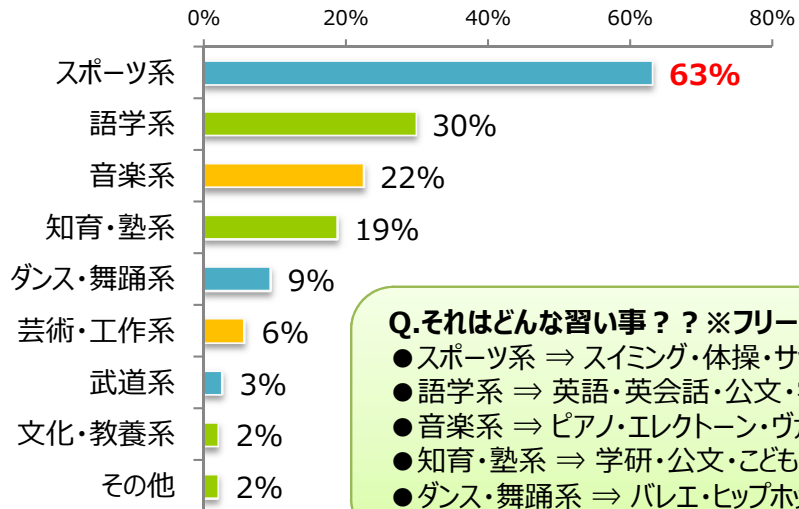


月の予算は、全体では**「5,000円～7,000円未満」が37%**と多数派。
※2ページ目の系統別でみたところ、**語学系、知育・塾系は、「7,000円～10,000円」がやや多い**傾向がありました。

Point 2

最も多い習い事は、「スポーツ系」63% 次いで「語学系」30%。「音楽系」22%。習い事を通して願う子どもの成長部分は、各系統で分かれるが、共通項は、「礼儀・忍耐力」を身に付けてもらい、「友達をたくさん作ってほしい」。

【グラフ6：何系の習い事をしていきますか？※複数回答】

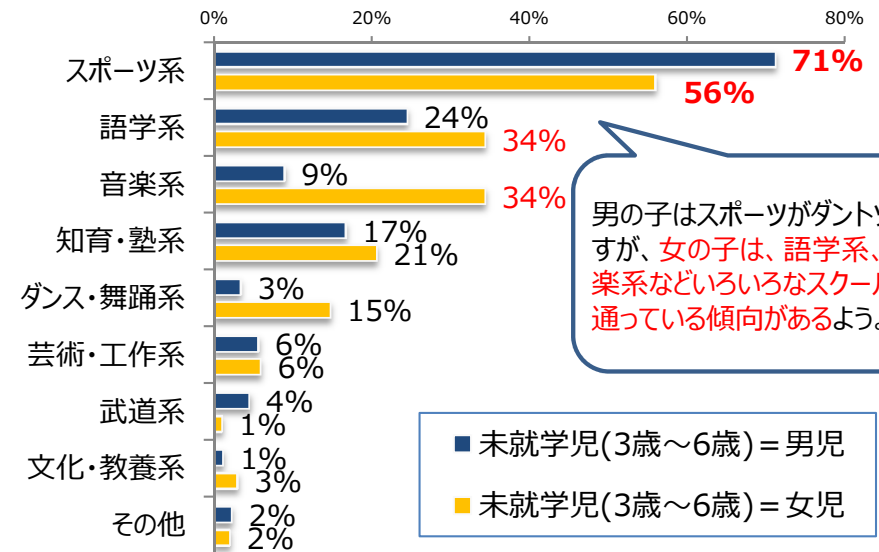


最も多い習い事の系統は、
1位：スポーツ系 = 63%
2位：語学系 = 30%
3位：音楽系 = 22%
 4位：知育・塾系
 5位：ダンス・舞踊系

Q.それはどんな習い事？※フリー回答より

- スポーツ系 ⇒ スイミング・体操・サッカーetc.
- 語学系 ⇒ 英語・英会話・公文・学研・ベネッセetc.
- 音楽系 ⇒ ピアノ・エレクトーン・ヴァイオリン・リトミックetc.
- 知育・塾系 ⇒ 学研・公文・子どもチャレンジ・そろばん・七田式etc.
- ダンス・舞踊系 ⇒ バレエ・ヒップホップ・チャリディング・新体操etc.

【グラフ7：男女児別：何系の習い事をしていきますか？※複数回答】

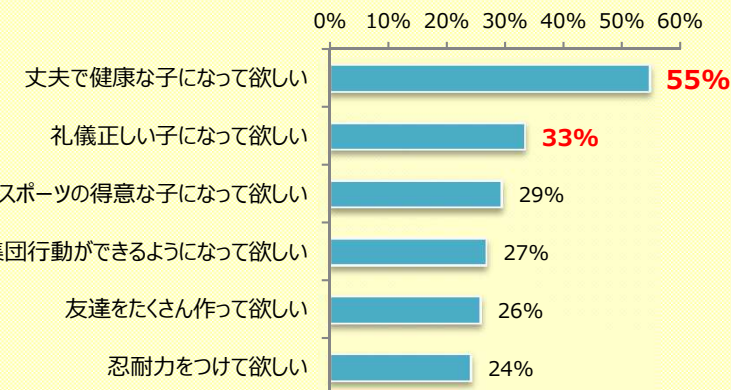


男の子はスポーツがダントツですが、女の子は、語学系、音楽系などいろいろなスクールに通っている傾向があるよう。

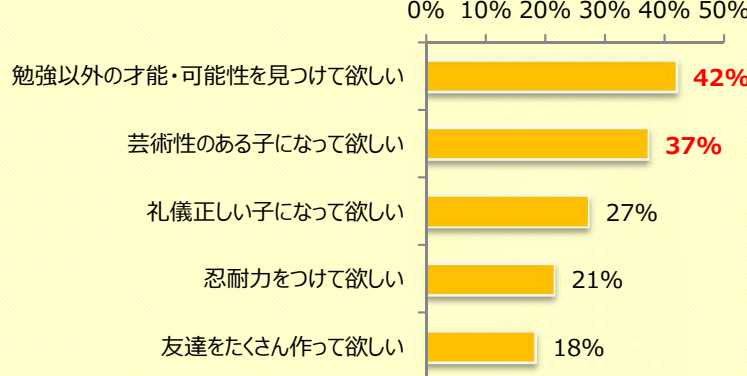
■ 未就学児(3歳～6歳) = 男児
 ■ 未就学児(3歳～6歳) = 女児

★習い事を通して、保護者が願う子どもの成長とは？※上位項目を表示

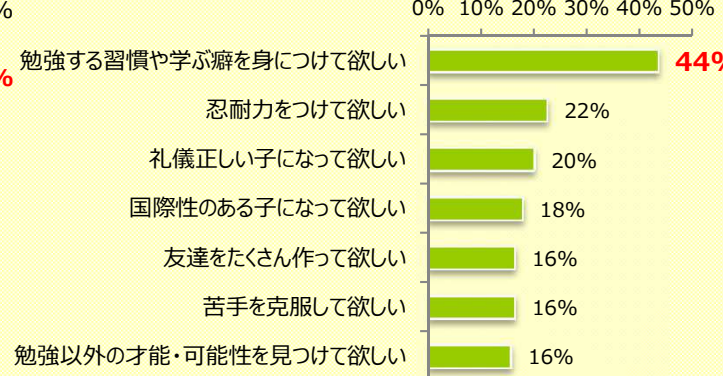
【スポーツ系、ダンス・舞踊系、武道系】



【音楽系、芸術・工作系】



【知育・塾系、語学系、文化・教養系】



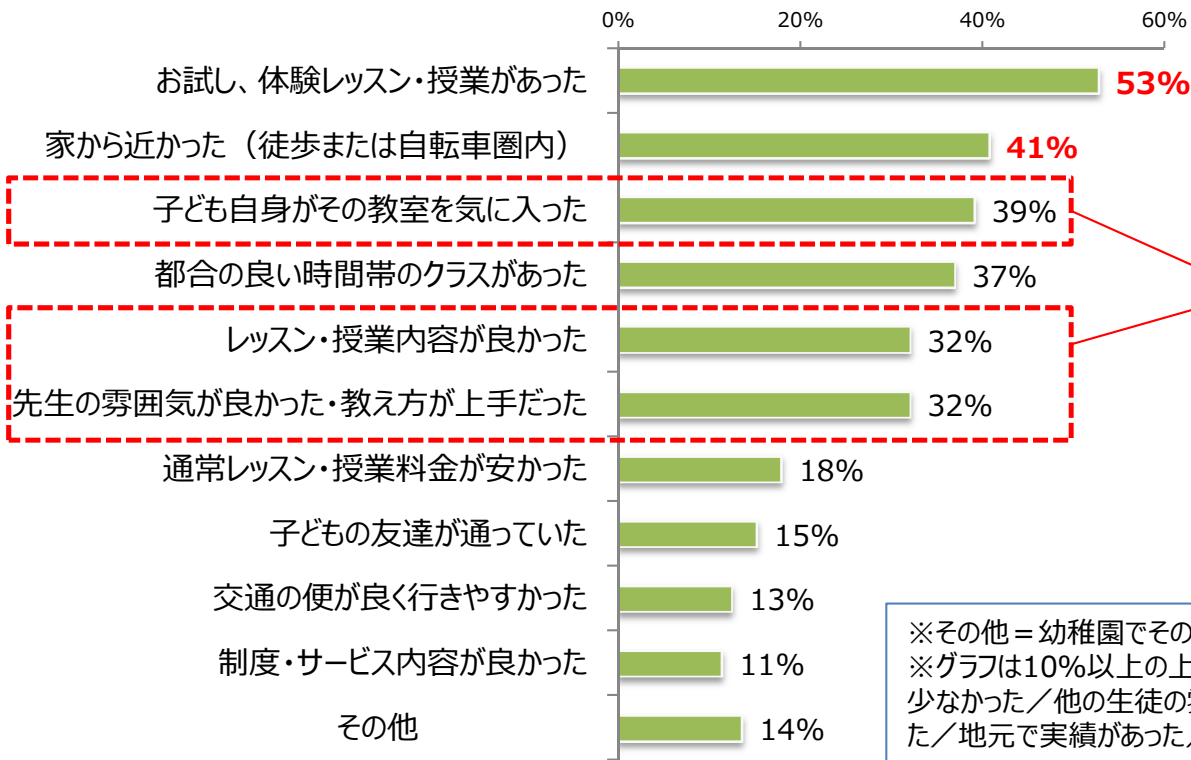
★POINT★
 ・健康 ・礼儀 ・集団行動 ・高い身体能力

★POINT★
 ・勉強だけでなく芸術的な才能の可能性 ・芸術性 ・礼儀 ・忍耐力

★POINT★
 ・勉強の習慣づけ ・忍耐力 ・礼儀 ・国際性(語学)

Point 3 現在通っているスクール・教室を決めたポイントは「お試し・体験レッスン・授業があった」と「家から近かった」。体験レッスンで、「先生の雰囲気・教え方」「授業内容」「子どもが気に入るかどうか」を確認

【グラフ8：現在、通わせているスクール・教室を選んだ理由は？ ※複数選択



53%の保護者が「お試し、体験レッスン」を受けて、入校を決めています。

以下に続く、「レッスン・授業内容が良かった」「先生の雰囲気が良かった・教え方が上手だった」「子ども自身がその教室を気に入った」は、**体験を受けてこそ、分かること**といえそうです。

また、小さい子どもを連れていくからこそ、**家から近い通いやすい範囲のスクールが探せるかどうか**は保護者にとって重要なポイントです。

今回の結果では、最終的には料金面が最大の決め手となっているわけではないことがわかります。

※その他 = 幼稚園でそのまま習える・兄弟姉妹がやっていたなど。
 ※グラフは10%以上の上位項目を表示。10%未満項目 コミ・評判が良かった/月のレッスン・授業回数が少なかった/他の生徒の雰囲気が良かった/自分の友達が子どもを通わせていた/紹介制度で紹介してもらった/地元で実績があった/月のレッスン・授業回数が多かった

★読者のVoice★ (※抜粋)

【体験して子どもを通わせなくなった3つポイント】

①先生の子どもへの接し方 ②子どもが楽しそうだった ③子どもが通っている姿が想像できた

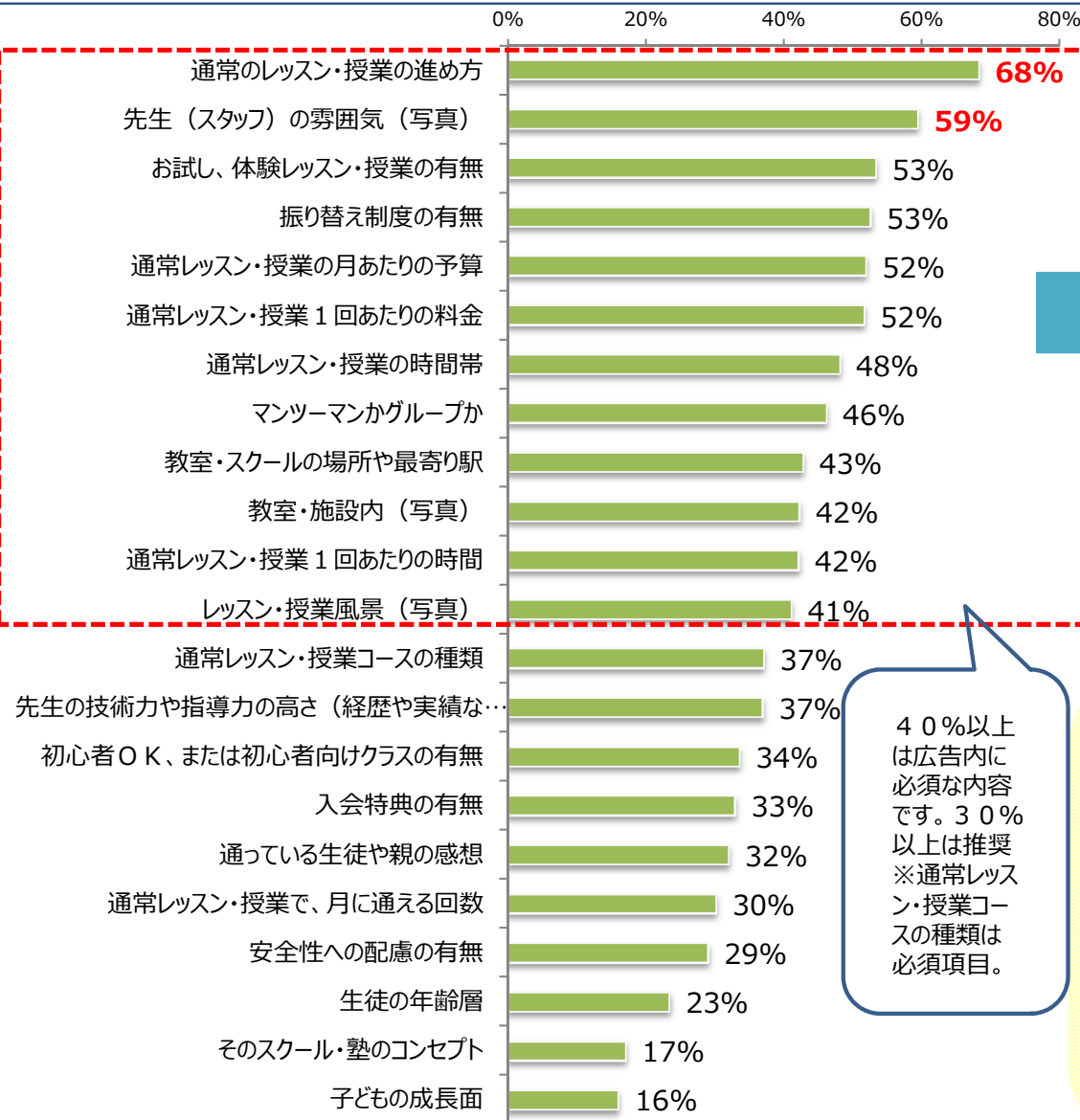
- ・「子どもが人見知りなのでどうなるかと思いましたが、**先生が優しく丁寧に関わってくださった**ので、また行きたいと子どもから言われて始めることにしました」
- ・「教え方が**出来ないことはこたわず出来なくて当たり前との姿勢**が良かった。そして出来るようにして褒めるのが勉強になった」
- ・「体験した際に、子どもがとても楽しそうでした。クラスの雰囲気に溶け込み、**違和感ない姿が見受けられ、通う姿が想像できたから**です。」
- ・「時に優しく時に厳しい**コーチの教え方に賛同できた**のと、大会などで実績があった」
- ・「**体験3回(無料)を通してじっくり決められる**。内容、月謝、日数共に納得のいくものだった為。また子どもは急遽体調を崩しやすいので、振替が出来る所も決め手でした」
- ・「慣れるまでは親と一緒にレッスンができ、慣れてきたら子どもと先生だけでレッスンに移るなど**発達段階によって環境を設けてくれたのがよかった**です。先生は集中が持たない我が娘が飽きないように、いろんなことを楽しく紹介しながらレッスンしてくれました。**親にも丁寧に今後のステージを示してくれたので、続けられそうだと感じた**ことが決めてになりました。」
- ・「教室の衛生環境は直接行かないとわからないので。」



Point 4

子どものスクールを選ぶ際は、かなり詳細まで事前にチェック！①「通常レッスンの進め方」②「先生(スタッフ)の雰囲気」③「お試し・体験の有無」④「振替制度」⑤「通常料金」⇒ある程度の条件に納得してから、体験を受けに行く。

【グラフ9：スクール・教室に通わせるとしたら、事前に必ず知っておきたいことは？※複数回答】



40%以上は広告内に必須な内容です。30%以上は推奨※通常レッスン・授業コースの種類は必須項目。

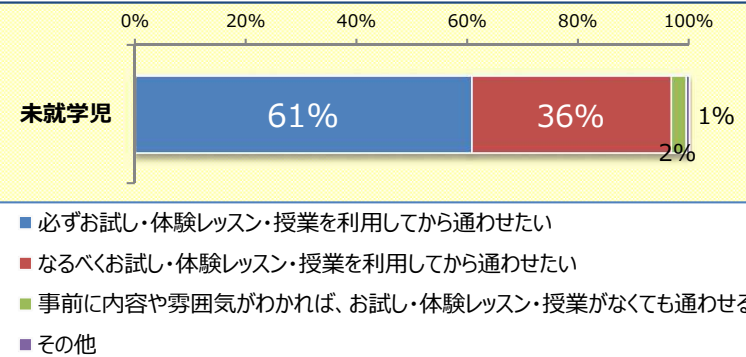
お子様のスクール・教室選びは、細部まで詳細にチェックしています。

◆読者の声から見る、広告に必ず入れたい内容は？

- ①通常レッスンの進め方⇒どんな風に教えてくれる？
⇒3ページ目の保護者が願う子どもの成長を促すか？
- ②教えてくれる先生やスタッフの写真
⇒体験前でも、顔が分かるとより安心できます。
- ③通常レッスンの料金
⇒お試しや特別料金のみは今後の予算立てができません。
- ④お試し・体験レッスンの紹介
⇒広告である程度希望条件が叶ったら、見ないと分からない(レッスン、施設、スタッフなどの雰囲気、子どもとの相性など)は体験教室で確認します。

★前ページにて「スクールを選んだ決め手」が「お試し体験レッスン・授業があった」なので、いかに体験を受けてもらうかが重要です。そのために、左グラフで挙がっているスクールの詳細とともに、体験レッスンの有無を必ず伝えることがとても重要といえます。

【グラフ10：新たに習い事のスクール・教室を選ぶ際に、お試し・体験は受けてみたいと思いますか？】

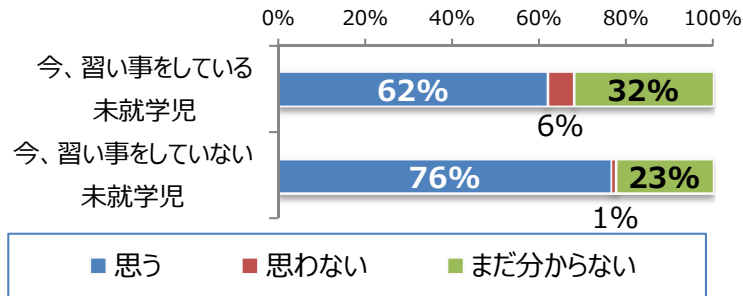


必ず&なるべくを合計すると97%の人が、スクール選びで「お試し・体験レッスン」を重視しています！

Point 5

新たに習い事をさせたいと思う保護者は、今習っている子では62%、習っていない子では76%と未就学児を持つ保護者の習い事への関心は高い。習い事をさせるのによいと思う時期は、春休み、4月、夏休みの3回。

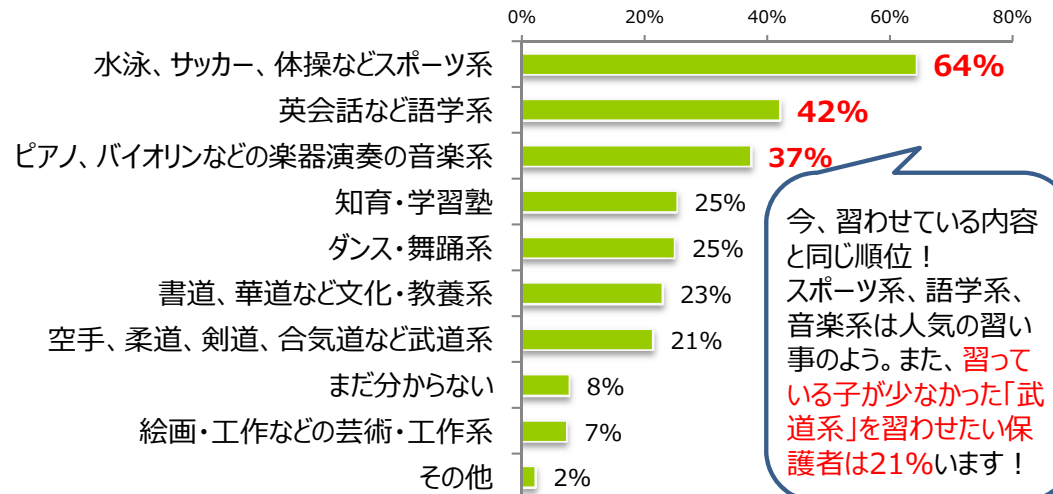
【グラフ11：今後、お子さまに新たに習い事をさせたいと思いますか？】



何を習わせたい？

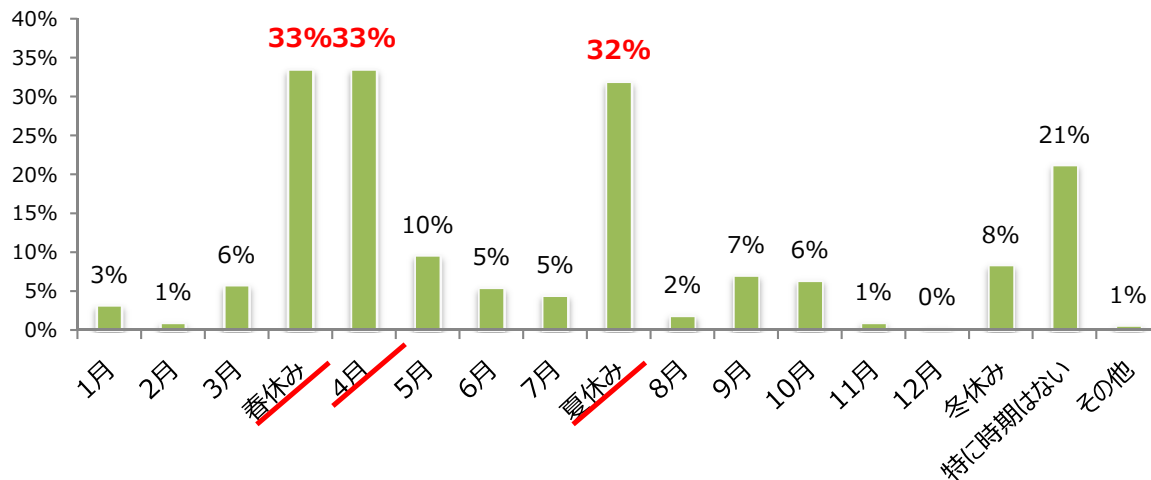
今習い事しているお子さまは62%、していない子は76%と、ともに高い割合で、**新たな習い事をさせたいと考える保護者が多い**ことがわかります。
習わせてみたいのは「**スポーツ系**」が64%、「**語学系**」42%、「**音楽系**」37%。

【グラフ12：習い事をさせるなら、何を習わせたいですか？】



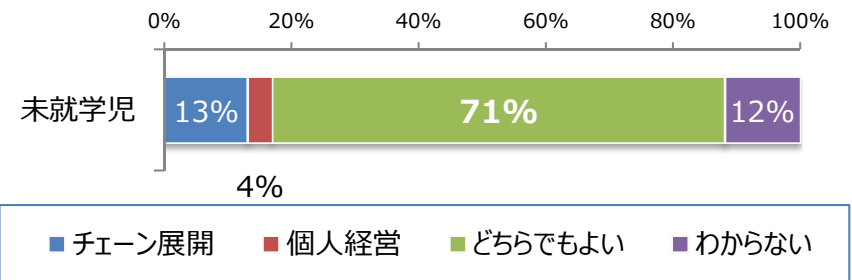
今、習わせている内容と同じ順位！
スポーツ系、語学系、音楽系は人気の習い事のように。また、**習っている子が少なかった「武道系」**を習わせたい保護者は**21%**います！

【グラフ13：お子さまに習い事をさせるなら、いつごろの時期が良いと思いますか？】



習い事をさせるのに良いと考える時期は、「**春休み・4月・夏休み**」の3回。

【グラフ14：お子さまのスクール・教室を選ぶとしたら、チェーン展開しているスクールと個人経営はどちらが良いですか？】



子どものスクールを選ぶ際は、チェーン展開や個人経営は「**どちらでもよい**」と思う保護者が71%。
5ページ目の①「先生の教え方」②「先生と子どもの相性」③「子どもが（楽しく・長く）通えそうか？」④「場所（家から近い）・予算・日時など」希望条件に合うスクールかどうか**重要**といえます。